

## シリーズ 「経済を問い直す」

### 第三回

## 書評カフェ 経済の文明史

「お金」の考え方は、昔から変わらないのでしょうか。今日の経済では、お金は身体における血流のようなもの、すなわち人間社会の根本的な制度インフラとして理解されています。それは人間活動をマクロ・ミクロ両レベルで、統一的に説明・理解する原理として考えられています。しかし、人間社会とその経済とは、昔からこの統一原理、つまり現代の私たちが暗黙のうちによく知っている「お金の原理」で説明できるようなものだったのでしょうか。もしそうではなく、かつての人々が現代とは別の経済社会を営んでいたのだとしたら、そのような社会から現代社会に変化するにつれ、人間社会はどこがどう変わったのでしょうか。あるいは、そのような変化など実はなくて、現代社会の経済と「お金」ですら統一原理などでは説明し切れない諸事実に満ちているのに、ただ単に私たちにはそれが見えなくなっているだけなのでしょうか。

カール・ポランニー（1886-1964）という経済学/人類学者が書いた「経済の文明史」という小論集には、経済を別様に考える多くのヒントがあります。この本を出発点にして、お金ひいては経済についてみんなで一緒に問い直してみませんか。

（当日は、主に 10, 1, 2, 3 章をヒントに話し合う予定です。）

#### 哲学カフェとは？

カフェを会場とし、ドリンク代のみで自由に対話に参加できます。「進行役」は、参加者の議論を促すガイドの役割を担います。1992年にフランスで始まった哲学カフェは、現在、日本各地で広がりを見せ、「Café Philo (カフェフィロ)」はその推進のため組織されました。

日時: 2013年6月22日(土) 14:00 ~ 16:00

場所: カフェティグレ伏見店  
名古屋市中区錦1丁目10-11、ユーキホテル1階  
(地下鉄伏見駅10番出口より徒歩1分)

進行役: 安田清一郎 + 三浦隆宏(椋山女学園大学)

主催: カフェフィロ (cafephilo.jp) (@cafephilo.jp)

問い合わせ: info@cafephilo.jp (三浦)

経済再生部